

Xデーは4月29日か

裏ワールドは数々の名シーンを生み出し、それは長きに渡り人々の記憶に深く刻まれる事となった。野池だけでロクマルを含む3匹トータル180センチ超を釣った者。全戦ビッグベイトだけで勝負を挑み、華々しく散った者。全選手が、心躍るような魂の釣りをしてみせ、勝った負けたを超越した、素晴らしいゲームとなったの、素晴らしいゲームとなる者は、あの感動を昨日の事のように思い出すであろう。しかし、一戦一戦があまりに激しすぎた為、結果的に短命となってしまったのである。

そして2010年、春。長き沈黙を破り、裏ワールドが復活する。この10年で、バスを取り巻く環境は劇的に変わった。ロッドが、リアルが、ルアーが、そして釣り方が目まぐるしく進化した。市場は既に成熟の域に達し、衰退期に突入したらそれに比例して、周囲からはバスを辞めたいという声を耳にする事が多くなった。そのような状況下で、対象魚がブラツクバス限定のフォトリナメントを、何故今さら行う必要があるのかという声も多々ある。裏ワールドは、そのような声に投げかけた、ある種のアンチシーゼでもある。バスフィッシングは終わったのか？

どうしても潮周りを意識してしまふこの時期だが、4月29日（土曜）日曜に大潮が終るこない。3月29日（日）4月1日、4月13日（15日）が大潮となっているが、一般的にサンディーアングラーは、このビッグチャンスを指をくわえて見ていなければならぬ。そんな中、4月29日の昭和の日の大潮となつてゐる。ゴールドンウィーク初日、まだブレッツシャールも低く、裏ワールドのウェイインも賑やかになりそうである。トツプが入れ替わるようなビッグスコアが一日で出る事も考えられる。裏ワルド開幕戦は、最終日まで目が離せない展開となるだろう。編集長やまでも、4月28（29日）にかけて開幕戦最後の釣行を予定しているが、暖かい雨が降るような天気になればと願つている。今までの傾向から、スポンニングの絡む開幕戦に最もビッグスコアが出る。陸っぱりアングラーが強いのも、開幕戦の特徴である。

敷居の高い大会とされているのか、私の営業活動が足りないだけなのか、参加人数がなかなか増えません。出場資格は、バス釣りが好きで、ネット環境が整っていて、デジカメがあれば誰でもOKです。裏ワールドを、釣り仲間を増やす交流場としても使うもよし、己の鍛錬の為の修行場とするもよし、です。どうぞお気軽にご参加下さい。

競馬で当てる、いつかはトライオン欲しいっ!! 春のスプリント王者決定戦、高松宮記念。これといった主役不在で難解な一戦だが、本命はエーシンフォワード。前走の阪急杯の勝ち方は本物だ。あとは1200mをこなすかどうかだけが、岩田騎手が何としてくれるであろう。対抗にキンシャサノキセキ。以下ファイングレイン、プレミアムボックス、ビービーガルダン、エーシントンタイガー、サンカルロ。三連単16-6から9、11、13、15、17各1000円。